

# ■ 日漢協トピックス



4年ぶりに市民公開漢方セミナー（日漢協創立40周年記念）を会場にて開催

2023年12月13日(水)、日暮里サニーホール(東京都荒川区)において、第26回 市民公開漢方セミナー(日漢協創立40周年記念)が開催された。当日は、一般聴講者112名、スタッフを含む関係者34名、計146名の来場者があった。

「今宵は、漢方とともに ～講談 & 講演の夕べ～」と題し、講談師の神田香織先生による講談と、ひめのともみクリニックの姫野友美先生による講演の2部構成であった。



【挨拶・日漢協 加藤 照和会長】



【MC・羽田沙織さん】



【展示の様子】

会場ロビーでは、日漢協 一般用漢方製剤委員会、生薬製剤委員会の2委員会によるパネル展示と商品(空箱)紹介が行われた。休憩時間には商品を手に取りながら、興味深く質問される方も多く見られた。

○「漢方復興物語 ～和田啓十郎の漢方復興への執念～」  
(講談師 神田 香織先生)

まずはじめに神田先生ご自身の漢方との出会いに触れ、“かぜもひかずに元気なのは漢方のおかげ”とお話された。また、漢方の復興に立ち上がった和田啓十郎先生について、幼少期に出会った漢方医から良医とは難病を治す医者であって身なりの良さではないことを知り、漢方を排斥しようとする明治政府に対して、反論するために『医界之鉄椎』を出版したこと、などを小気味よく語られた。



【神田 香織先生】

○「漢方×栄養でストレスケア ～ストレスからのレジリエンス(回復力)を身につける～」  
(ひめのともみクリニック院長 姫野 友美先生)

人は常にストレスにさらされているが、ストレスがあっても負けない心と身体をつくるために重要なのは“栄養”であるとお話された。その救世主が4つの栄養(タンパク質・脂質・鉄・ビタミンB)であり、それぞれの栄養素の役割を解説され、漢方を利用しながら正しく栄養をとり、心と身体の回復力を高めよう！と締めくくられた。



【姫野 友美先生】



【会場の様子】

今回は、ハイブリッド開催を止め、4年ぶりの会場開催となったが、大盛況のうちに幕を閉じた。当日の映像は、約1か月後より日漢協ホームページにてYouTube公開される予定である。